

The background features three stylized speech bubbles in green, blue, and purple on the left side, with yellow triangular rays emanating from them, suggesting a bright or energetic theme.

# 資源利用に関わる秩序を どう作るか？

# 戦略

オープン・アクセス状態にある資源の減少と枯渇を防ぐための新しい利用・管理体制の模索

## 基本的なアプローチ

- 投入量規制
- 技術的規制

## 新しいアプローチ

- ゾーニング
- 地域漁業権の確立  
(the right to fish or use fishery resources )

\*\*Territorial use right for fisheries (TUEFs)

# (参考) 漁業管理の手法

表 漁業管理手法の分類

産出量規制	投入量規制	技術的規制
総漁獲可能量(TAC)	免許・許可(参入制限)	体長・性別漁獲制限
個別漁獲割当(IQ)	個別漁獲努力量割当(IFQ)	操業期間制限
個別漁船漁獲割当(IVQ)	譲渡可能個別漁獲割当(ITQ)	操業時間制限
(譲渡可能個別漁獲割当)	漁具・漁法制限	操業区域制限
	漁船規模・馬力制限	
	航海毎の操業回数制限	

# CBRM: アプローチの特徴

## 所有意識にもとづく資源の利用と管理

- 1 オープン・アクセス状態にある資源をコモンズの資源に変換
- 2 地域資源の利用と管理に関する権利を設定  
(地域住民が集団的に行う)

\*\*資源利用に排他性をもたせる

- 3 地域住民の生活とのかかわりがもてるような  
枠組みを作る

# ゾーニングの考え方

## 基本

### 1 沿岸零細漁業と大規模漁業(商業的漁業)の棲み分け

競合する漁具・漁法の棲み分け

公平な資源分配

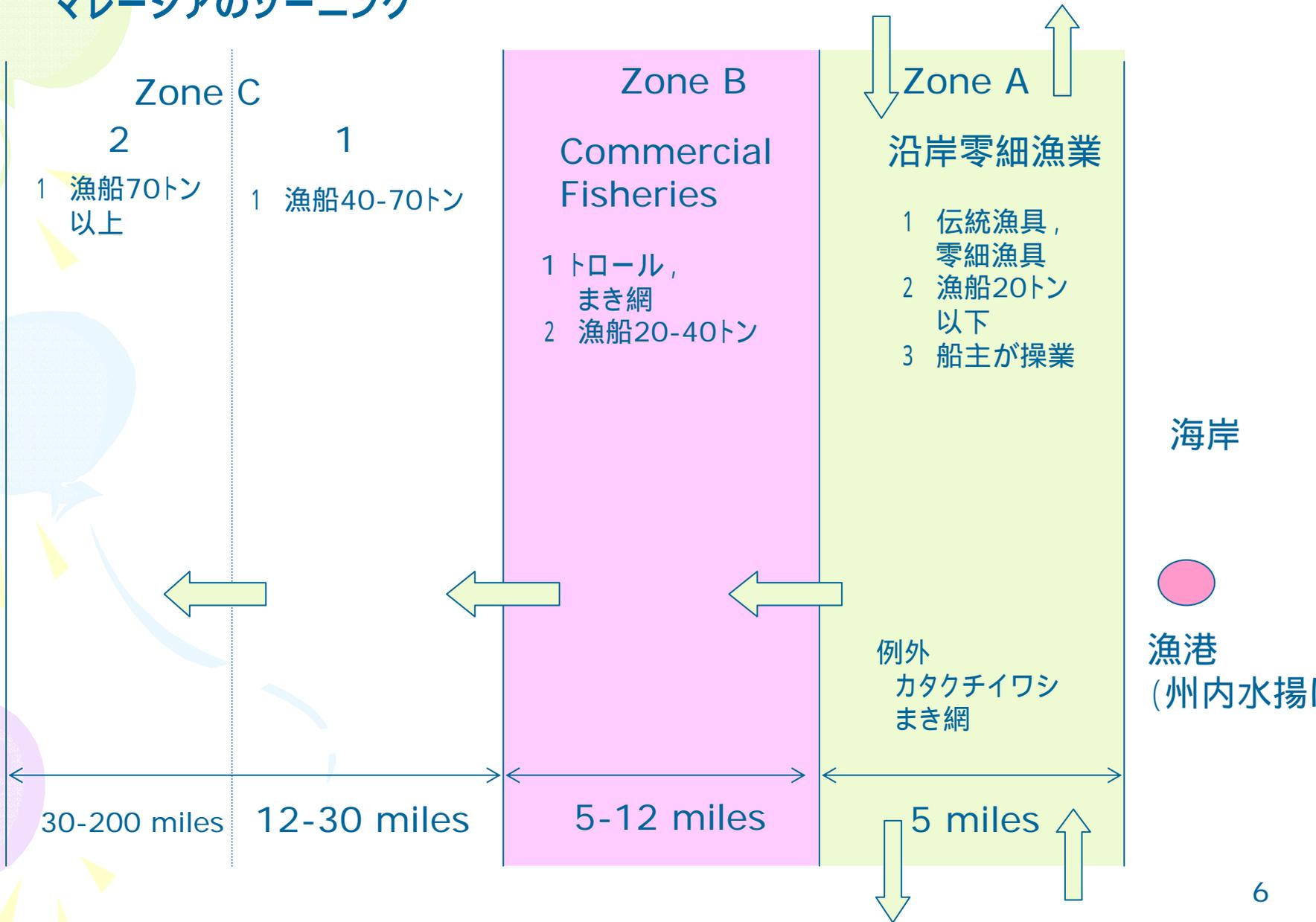
### 2 資源にダメージを与える漁具・漁法の排除

資源の保全

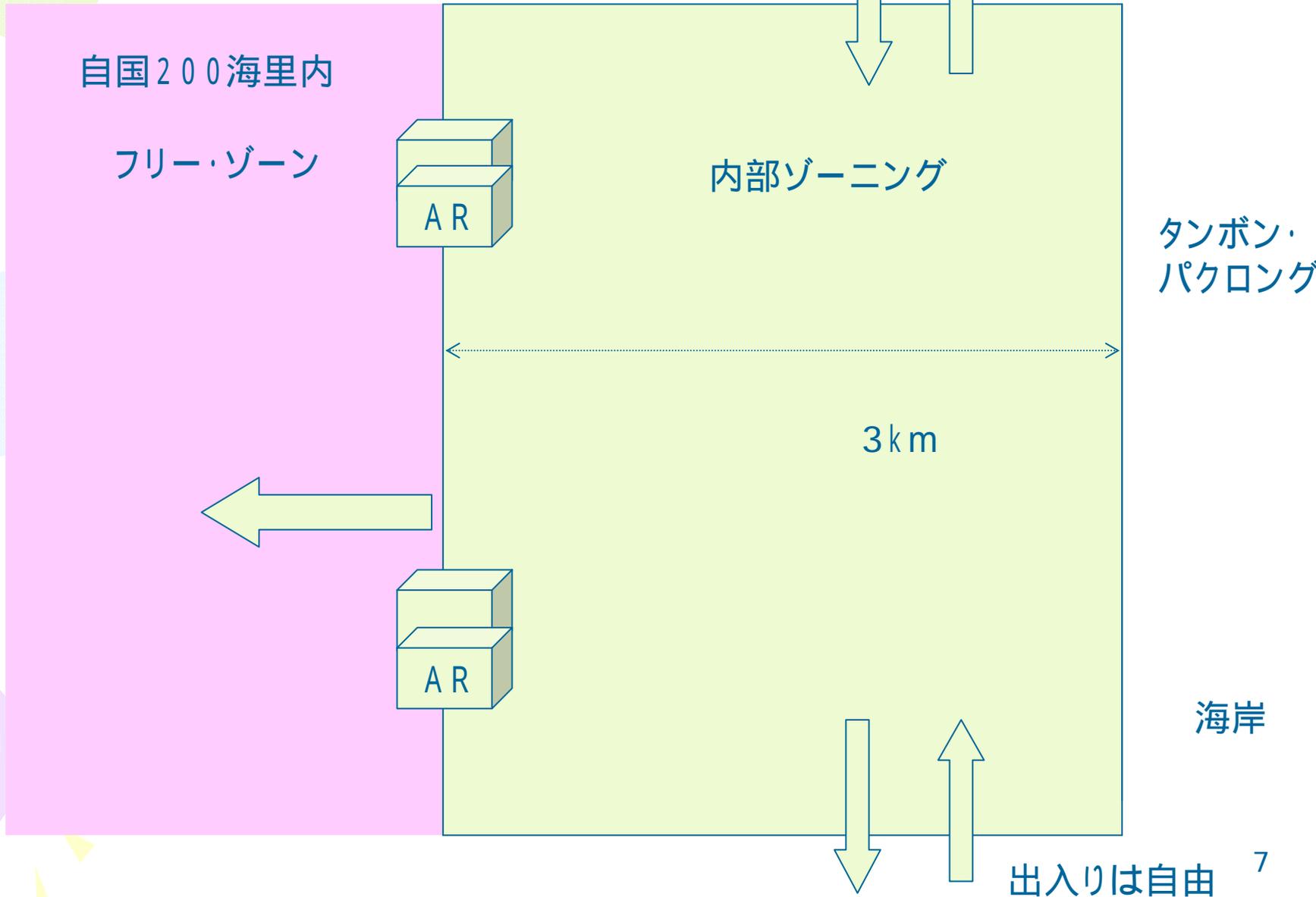
### 3 地域内で多様なゾーニング

資源の利用実態に応じた区分

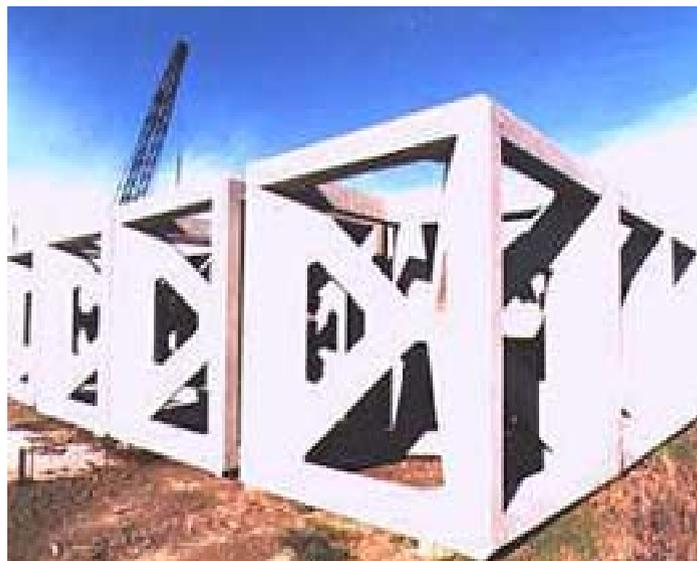
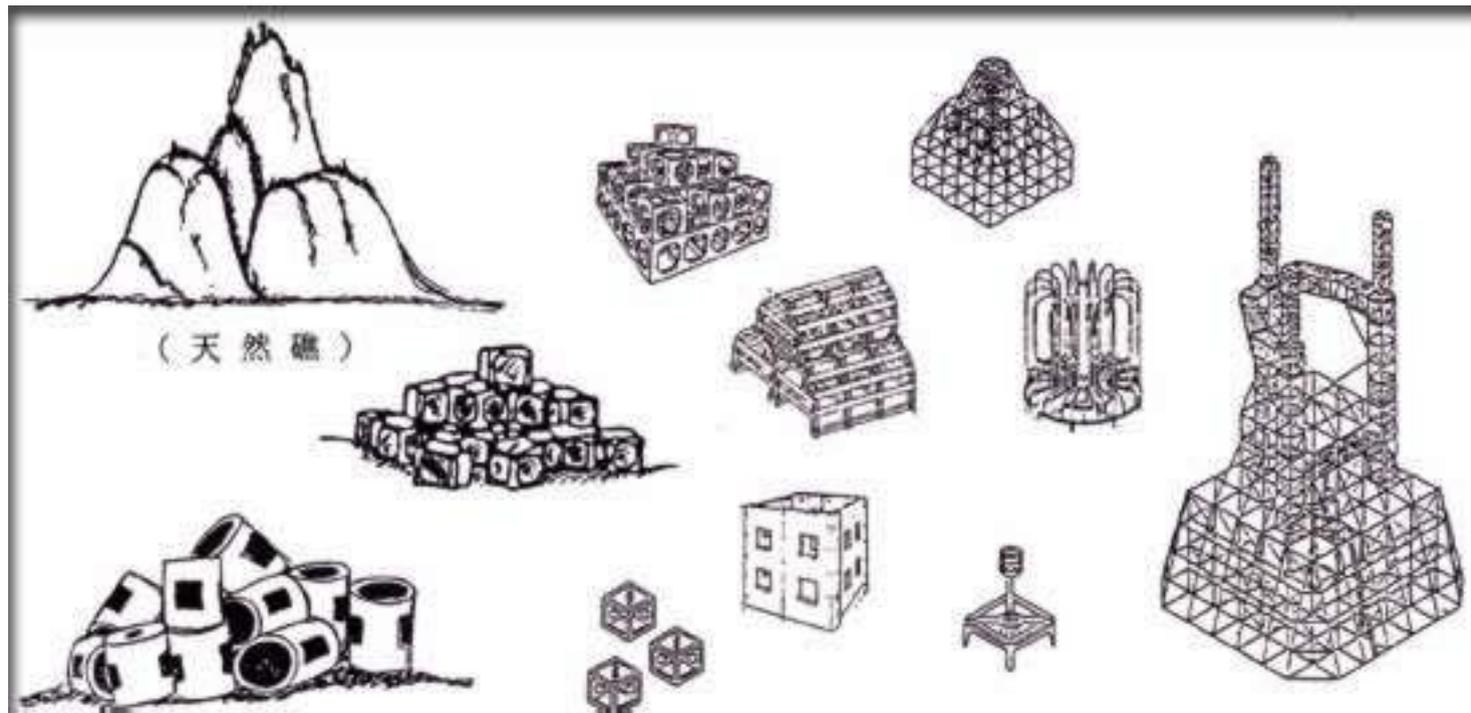
# マレーシアのゾーニング

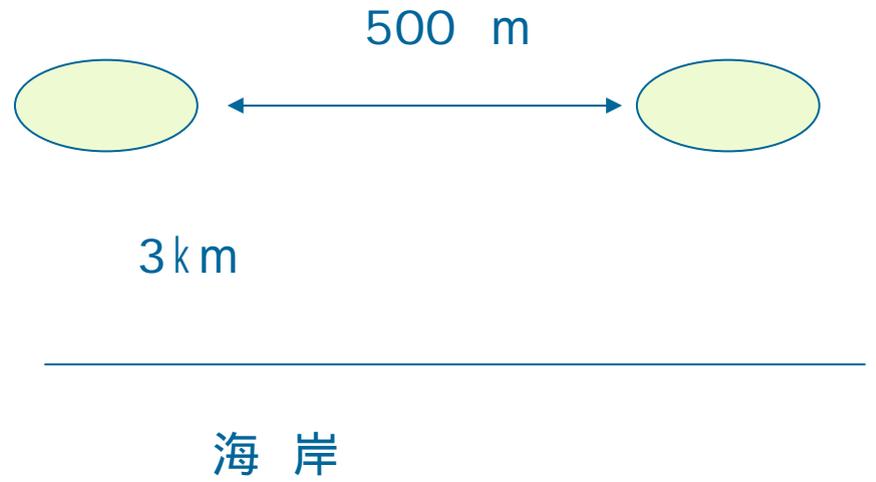


# タイ : LBCRM-PDのゾーニング



(参考)人工漁礁のあれこれ





Thailand: Pattani





Philippines: Malalison,  
Panay

This is situated around  
The circle of Coral Reef  
Sanctuary.



# 地域漁業権の考えた

## 特定海面域の利用と管理に関する権利



利用者のグループ、地域住民組織に賦与

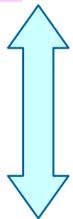
集団的な管理と利用

- 1) 一定海域を対象に、資源利用と管理に関する権利と義務を明確化
- 2) 利用者や地域社会の意思と判断にもとづく資源の利用と管理

# タイ: 沿岸零細漁業を対象にした登録・許可制度(案)

県水産行政/地方漁業  
委員会

許 可



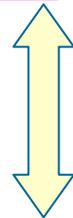
Ao.Bo.Tos (或いは 郡)  
(Designated Community)

登 録

漁獲漁業, 養殖業

県水産行政/地方漁業  
委員会

指導・調整



Ao.Bo.Tos (或いは 郡)  
(Designated Community)

許 可 — 登 録

漁獲漁業, 養殖業

# 沿岸零細漁業の登録分類 (案)

表 沿岸零細漁業の登録

	自由参入漁業	登録漁業	登録・許可漁業
漁民登録	なし	あり	あり
漁具登録	登録および許可が定められた漁具以外	なし (対象漁具は定める)	許可を得た漁具のみ使用 (対象漁具は定める)
漁船登録	あり	あり	あり
操業海域	沿岸域	沿岸域 (地域漁業権域内)	沿岸域 (地域漁業権域内を含む)

# 地域漁業権をめぐる 二つの道

競争性か協同性か？

## 1 競争性と効率性重視

持続的な資源利用が可能な資源利用者およびグループ  
に利用と管理の権限を委ねる



排他性と流動性の高いシステム

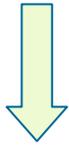
企業的な漁業経営を想定

投資が長期にわたって固定

## 2 協同性と公平性重視

海域の共同管理と利用

地域社会(漁民集団)に対して利用権を賦与



地域が資源利用者を特定。地域社会に資源分配の公平性を保とうとする機能が備わっている場合、生存維持的なメカニズムが働く

分解阻止的な機能

資源利用の協業的性格

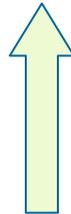
タイトな管理が可能な組織・機構

# 公平性の確保

Co-management Approach

自律, 自助, 公平

水産行政の監視



大規模漁業者や開発エリート  
による資源独占を排除

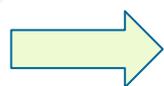
民主的な運営手続き, 決定過程への参加

協同組合的, 共同体的な理念とシステム

# (参) 占有権設定の危険性

## I カンボジア

内戦の混乱の中、個人を対象にした占有漁業権がト  
ンレサップ湖周辺で設定。



占有権者を中心にした漁業生産、流通、資源  
利用体系が確立。

Fishing Lots

漁業権ばかりか、水、航行などに対しても支配権を行使

武装集団化、零細漁民との軋轢の増大

新しい漁業秩序の確立をめざした苦闘

## II インフォーマルな定置網漁業権

### 事例

1) ソンクラ湖周辺 (タイ南部)

2) パナイ島バタン湾周辺

(フィリピン)

- 1) 定置網設置場所をめぐる争いが生じる
- 2) 地域内で利権として認知され, 売買取引の対象になる
- 3) 漁業法の枠からは外れるために, 行政との軋轢が高まる
- 4) 村や地域で集団的に管理されることもあるが, 特定の個人やグループによって管理されることもある

マフィア化する可能性もあり!!

A photograph of a traditional outrigger canoe on a beach. The canoe is white with blue and red accents and is supported by a wooden frame. In the background, there is a clear blue ocean, a sandy beach, and a lush green hillside under a bright blue sky. The text 'ローカル・コミュニティをどうつくるか' is overlaid in large, bold, yellow characters with a white outline.

# ローカル・コミュニティをどうつくるか

# 日本のコモンズ再生の時！

- 条件不利地の森林資源や水産資源  
「タイトなローカル・コモンズ」として利用  
コモンズ資源の放置

要因：高齡化と過疎化, etc.

コモンズ利用管理上の問題

強い慣習，利用者の限定，地域社会の閉鎖性

(新規参入者の利用，外部者の利用を許さないシステム)

新しいコモンズに再生する必要

# ルールなコモンズへの転換

- アクセスする権利をオープンに  
例 都市住民参加による里山管理, 山林利用  
都市周辺 所有権や入会権とは違う新しい利用権(アクセス権)の発想
- 資源利用者資格の緩和と制度改正  
例 沿岸の共同漁業権, 漁協組合員資格の変更  
新規参入を容易に

# 開発途上国：資源の持続的利用に むけた課題

## 1 資源管理の対象

人間の利用行為，開発行為の管理

## 2 資源を利用する人間の行動規範，彼らが住む社会や文化への関心

資源の利用と分配を規定する社会関係

## 3 利用者の実態や資源の状況に対応できる管理体制

多様性と柔軟性への配慮

## 4 資源分配の公平性の確保

大規模生産者の排除，生産構造の再編成

## 5 資源利用圧力を減らす措置，社会開発と連動

総合的なアプローチ

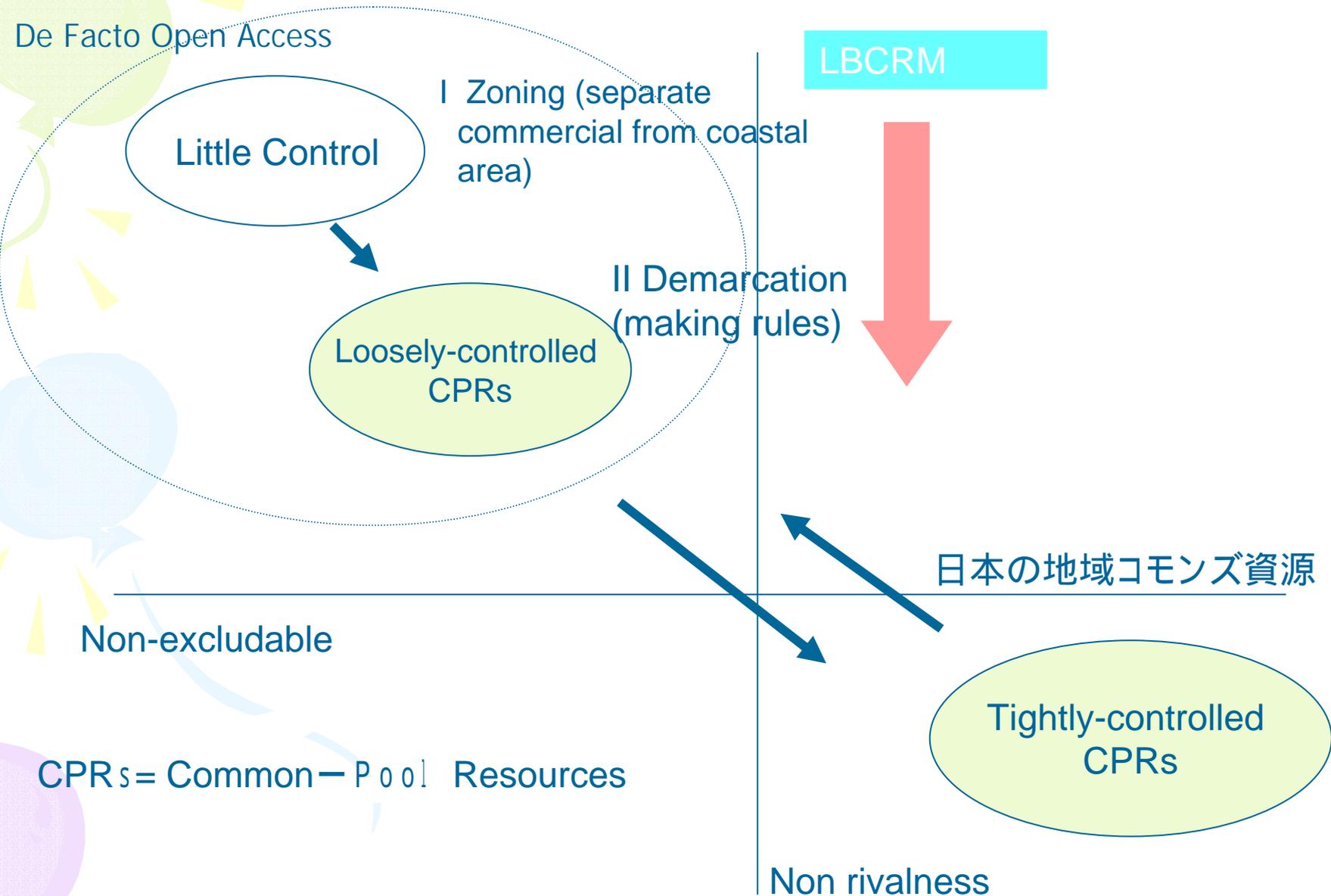
## 6 コモンズ的管理に必要な法整備，枠組み作り

資源利用者，地域の意思が反映できる  
法体系

# タイトなコモンズ作り

- C B R M等の導入による資源利用秩序：地域で確立
- ルーズからタイトに：どのように向かうか展望  
注意：1)タイトなコモンズ作りがもつ社会的リスクの緩和  
社会開発との連動性  
2) Step-by-step計画
- 柔軟に変化させていける制度を！  
日本のコモンズの欠陥！ 教訓化

# Chart ルースからタイトへ(コモンズの視点から)



# 地域資源管理：日本の貢献

- 日本のCBRM：世界的にみてユニークな存在  
経験と知識を蓄積（制度としてのコモンズ管理）
- 日本の経験を一般化，広める努力  
FAOなど国際援助機関，NGO，学会等を通じた普及  
森林管理，水産資源管理，農業用水管理など，幅広く応用  
できるモデル（モデルはきわめて多様）
- ボトム・アップ，参加型管理を支えられる制度とは何か？

終わり



# レポート課題

## 必修

1、アジアでは、地域共有資源(特に、水産資源や林業資源)の持続的利用をはかるための努力がなされている。以下の点に言及しながら、持続的利用を実現するための諸方策について述べなさい。

地方分権化， 住民参加， 伝統的生態学的知識(TEK)の応用， 慣習のフォーマル化， 共同体的原理， 新しいコモンズ作り  
(順不同)

(3200 - 4000字程度)

# レポート課題

## 選択

- 1) アジア開発途上国で起きている「共有の悲劇」の事例をあげ、その原因を説明しなさい。
- 2) アジア開発途上国で行なわれている新しいコモンズ作りに対し、あなたはどのような貢献、協力ができますか。

(300 - 400字程度)